

茶 ちゃ チャ

発行

茶道裏千家淡交会新潟青年部

発行責任者

部長 小林一彦

新年度スタートにあたり

部長 齋藤宗栄社中 小林一彦



昨年は青年部活動にご協力いただきまして、ありがとうございました。
 特に「新潟青年部発足50周年記念大会」は皆さんにとっても大変な行事だったと思いますが、親先生や先輩方のお力添えもあり、無事に終わることが出来ました。
 新潟青年部50年の歴史の厚みを知り、諸先輩方に感謝をする、とても良い機会となりました。
 さて、新潟青年部の年間テーマは「また会いたくなる仲間になろう！」ですが、皆さんは如何でしょうか？私は今期“また会いたくなる仲間”が増えました。毎月会う役員の方々もそうですし、たまにしかお会いできない方の中にも個性と才能、人生経験豊かな人に沢山出会えました。
 そんな皆さんと、今年も一緒に活動できる事を楽しみにしております。入会して良かったと思える青年部活動が出来るように努めて参りますので、どうぞ宜しくお願い致します。

新潟青年部活動紹介(平成27年度抜粋)



キモノで茶話会(研修委員会)



幼稚園マナー教室(交流委員会)



富山研修旅行(上越委員会)



奏風茶会(交流委員会委員会)



新潟青年部 50周年記念行事



新入会員歓迎会

平成28年 新潟青年部 行事予定

- | | | | |
|----------|-----------------------|----------|----------------------|
| 4月24日 | 古帛紗作り(研修委員会) | 7月-8月 | 炉灰作りと風呂灰形作り(育成委員会事業) |
| 5月 | 紙漉き体験(上越委員会) | 9月 | 子供茶道教室(交流委員会) |
| 6月12日 | 国際交流茶会(交流委員会) | 10月1日-2日 | 青年部北陸信越ブロック会員大会(佐渡) |
| 6月17-18日 | ナショナルコンファレンス2016inいわき | 10月16日 | 淡交茶会 青年部席 |
| 6月19日 | 新入会員歓迎行事 | 10月23日 | 上越チャリティー茶会 青年部席 |
| 7月 | 新潟チャリティー茶会 青年部席 | | |

各行事、開催日が若干変更になる場合がございます。まだ未定の行事もありますので、決まり次第順次ご案内致します。

行事報告

育成委員会主催 講演会・平成28年度新潟青年部総会 開催

平成27年2月21日、新潟ユニゾンプラザにて 小川宗聰幹事長先生、中村宗元先生ご臨席のもと、育成委員会主催 講演会及び平成28年度新潟青年部総会が行われました。

総会に先立ち行われた講演会では、全国良寛会会長 長谷川義明氏を講師にお迎えし、「良寛さんに学ぶ」と題してご講演いただきました。

講演では、良寛さんが世界の二大聖人の一人であることや、良寛さんのどこが偉いのか、といったことをお話いただき、また昭和20年に作られた貴重な良寛さんの紙芝居(童画画家の黒崎義介の作)を演じていただきました。

とても丁寧で分かりやすいお話で、1時間半の公演時間があっという間に過ぎていました。

今まで漠然としか知らなかった良寛さんについて知識を深めることができ、参加した会員にとって大変有意義な講演となりました。

ありがとうございました。



長谷川義明氏による講演「良寛さんに学ぶ」



平成28年度新潟青年部総会

第28期リーダーシップ・トレーナー出向員研修・後半を振り返って

池田 誠(富澤宗典社中)

昨年、一年間を通じて参加したリーダーシップ・トレーナー(L・T)出向員研修「後半」の報告です。

L・T出向員研修第4回は平成27年9月12日(土)・13日(日)の両日、臨濟宗大本山妙心寺塔頭如是院(京都市右京区)にて行われました。

今回の研修は、ナショナルコンファレンス等の外部研修が当期出向員の研修プログラムに盛り込まれないことなどから行われたもので、ほぼ初めての企画となる禅寺での一泊二日の修行体験を行いました。

初日は読経、お参りの後に開講式が行われ、長谷川義翁淡交会総本部事務局長と永安宣明御住職に挨拶をいただき、皆で坐禅を行いました。坐禅の基本姿勢で呼吸を整えながら、自分自身に向き合う時間が始まります。永安御住職の手を叩く音で坐禅が始まると、静けさが部屋に広がり、糸がピンと張ったような空気に包まれます。静かな空間で集中しようとするほど雑念が浮かぶもので、ただただ時間がより長く感じます(これも雑念なのでしょう)。警策は希望者のみ、とのことでしたが、せっかくの機会、積極的にいただきました。不思議と痛みは感じませんでした。

数回の坐禅の後、夜の模擬茶会に向けた準備を行い、薬石(夕食)となりました。食事の前にお経を唱え、配膳担当の出向員から配膳を受けます。薬石の間は話してはならず、食べる順番を意識しながら、皆で黙々といただきます。お代わりをする際も一切声を出さず、合図で知らせる作法には突き詰められた合理性を感じ、とても興味深いものでした。

初日の締めくくりは模擬茶会。出向員が2班に分かれ、互いに交代で客と亭主を務めます。テーマを同じにしながらも、各班なりの趣向が盛り込まれた模擬茶会は楽しいものとなりました。

翌日は朝6時から研修が始まりました。読経と坐禅の後、作務(清掃)を行います。私を含む数人は同じ妙心寺内の塔頭壽聖院での作務となり、作務の後には松山御住職から院内をご案内いただくなど、重ねての貴重な体験となりました。如是院に戻ってからは粥座(朝食)をいただき、塔頭桂春院に移動して茶室「既白庵」などを見学した後、如是院で坐禅を行いました。最後に御住職から挨拶をいただき、2日間の研修が終了しました。

始めはとても長いように感じた2日間も、坐禅や作務などを通じて得た時間はとても短く、濃いものでした。機会があれば、青年部会員の皆さんにもぜひお勧めの研修でした。

また、この研修後には出向員の企画による粟田焼の絵付け体験に参加しました。青年部の大先輩で、第10期L・T出向員でもある粟田焼窯元(鍵屋)安田浩人氏の指導のもと、絵付けを行いました。絵柄をようやく決め、いざスタートするも...丸い茶碗の表面には思ったような絵付けができず...。日ごろ私たちが当たり前のように手にしている茶碗が、いかに作家の方の技に裏打ちされたものであるかを実感することとなりました。

続く第5回研修は平成27年10月10日(土)、11日(日)の両日、裏千家学園、さかい利晶の杜及び南宗寺で行われました。

長谷川義翁事務局長の挨拶に続き、野口耕一今日庵事務局長付による「裏千家と学校茶道について」と題した講義が行われました。裏千家の学校茶道に対する取り組みや学校茶道の現状、青年部と学校茶道との連携の大切さについて説明があり、第2回研修で米澤昭博元青年部全国代表者会議議長からお話のあった「次世代のために福田を耕すこと」の大切さを思いだし、心に刻む講義となりました。

その後、ICI(International Chado Institute)の稽古見学を行いました。世界各国から茶道に関心を持ち、たくさんの方を吸収しようとお稽古に取り組む心意気に、自分自身の茶道やお稽古に対する心向きを振り返ることとなりました。

初日の最後は、次回(第6回)研修で行う全国代表者会議の呈茶席について、各グループで打合せを行いました。グループの皆がそれぞれの感性でイメージしてきたアイデアを出し合い、摺り合わせている間に時間はあっという間に過ぎていきます。全国から来られるお客様に、一年間の取り組みを知っていただくことのできる良いお席にしたい、気持ちはその一つでした。

2日目は早朝からバスで大阪府堺市へ移動し、まずは平成27年3月にオープンした「さかい利晶の杜」の「千利休茶の湯館」と利休屋敷跡の見学を行いました。車中では2つの班がそれぞれ調べてきた「堺について」、「南宗寺と利休様について」をテーマについて発表。時にクイズも交えた発表には楽しさも混じり、堺への時間はあっという間でした。「千利休茶の湯館」では、堺の成り立ちから当時の様子、利休様と茶の湯についてなど、工夫を凝らした展示に時間を忘れて見学し、館内の茶室「風露軒」では堺支部の先生方によるお茶を頂戴し、ホッと一息つけるおもてなしの時間をいただきました。

続けての見学は「さかい利晶の杜」横の「千利休屋敷跡」。ボランティアガイドの方による説明を聞きながらの見学でした。当時も今も変わらぬ地下水がもたらす堺の豊かさに、往時をしのぶ見学となりました。

2日目最後の研修は南宗寺参拝でした。ボランティアガイドの方から千家一門の碑、利休好みの茶室「実相庵」見学など、境内を詳しくご案内いただきました。その後、南宗寺御住職の田島碩應老師による法話で研修を終えました。この研修が始まった頃には「第6回までついていけるだろうか」と思っていた研修も残り1回。第6回研修と全国代表者会議呈茶に向けたラストスパートです。

第6回研修は平成27年12月4日(金)、5日(土)の両日、裏千家学園とリーガロイヤルホテル京都で行われました。年6回、御宗家・総本部に出向し研修を受けてきたこの研修も、いよいよ最終回。この一年間、ほぼ毎日のように連絡を取り合い、たくさんの方を話してきた30人が一緒に活動するのも、一旦はここが一つの区切りとなります。

初日は木戸崇夫淡交会専務理事による挨拶に続き「リーダーとは何か」と題した講義が行われ、「人それぞれにリーダー像は異なるかもしれないが、自分が理想とするリーダーを目指して、これからの青年部活動に取り組んでください」と励ましの言葉をいただきました。研修に参加が決まって以来、「なりたい」と思った訳ではないものの、「リーダーって何だろう」と漠然と思う部分を自身の内で自問し続けていたように思います。研修を通じて、自分に足りない部分をたくさん自覚するとともに、多くのメンバーとの協力がある自分も先に進むことができる、そう学ぶことができた一年間でした。

講義に続いて、「今年一年の成果と抱負」と題した3分間スピーチを行いました。この一年間を振り返って感じたこと、第1回研修では話さなかったことなど、3分に込め切れない思いとメンバーへの感謝が頭の中を巡り、3分を少し超えるスピーチとなりました。こうして研修を終えた後も、各地を訪ねる度に集まり、また新しい学びを与えてくれるメンバーに出会えたことに、みんなのメンバーに対する思いや行動力に感謝するとともに、この年代で大切にしたい仲間ができたことを本当にうれしく思っています。

夜には茶杓「尺度」の引継式が行われ、関東第三ブロックの方々の熱い思いをお聞かせいただき、翌日に控えた代表者会議呈茶を迎えることとなりました。

研修2日目はリーガロイヤルホテル京都で「第54回全国代表者会議・第45回ブロック代表者会議」の呈茶席を担当しました。今回の呈茶席のテーマは「無限」。呈茶が始まると、その時間はあっという間でしたが、第5回研修以降もそれぞれのグループがアイデアを出し合い、時には遅くまで意見を交わした30人の思いが結実した、何物にも代えがたい思い出の呈茶席となりました。そして、全国代表者会議冒頭での修了式。研修の修了は、次への第一歩となりました。

振り返れば研修はあっという間で、常に前に進むことだけを考えた一年間でした。自分自身の学びとなった部分はもちろん、新潟青年部や北陸信越ブロックが持つ「他には無い『良さ』」を感じることもたくさんありました。一方で、自分に足りないものやたくさんの方の反省点をダイレクトに感じた一年間でもありました。L・T研修という名前や、メンバーの熱い思いと行動力に少し気後れを感じたこともありましたが、暖かく送りだし、見守ってくださった幹事長先生はじめ行松議長、加納前ブロック長、小泉ブロック長、阿部前部長、小林部長、アドバイスをくださった新潟青年部と北陸信越ブロックの先輩方、多くの方に支えられ、研修を修了することができました。

ありがとうございました。一年間の研修で学んだことや身につけたものを少しでも多く発信し、次につながるよう青年部活動に取り組んでいきたいと思っています。



新潟青年部の仲間になりませんか！

新潟青年部では新入会員を募集しております。
青年部では、教室(お社中)の枠を越えて集まった仲間たちが会員相互の交流や茶道の良さを世に広めることを目的として様々な活動を行っています。
青年部でしか体験できない素晴らしい出会いや経験が、あなたを待っています。
皆様の積極的な入会をお待ちしております。

詳しくは..... 新潟青年部部长 小林一彦 Tel 090-9421-8207
お気軽にお問い合わせください。



会員の皆さんへ

新潟支部育成委員会より、ご助言をいただきました。

以下の事柄をきちんと実践することで、より一層の親先生方からの青年部活動へのご理解、ご協力をいただけるよう、皆さんで努力し、新潟青年部を盛り立てていきましょう。

1. 青年部会員間ではお点前の手順は教えあう事はありません。お点前のお稽古は各社中でお勉強してきてください。
2. 社中の先生には、青年部活動について「報告・連絡・相談」を常に行ってください。黙って青年部活動に参加することのないようよろしくお願い致します。
3. 青年部活動だけに参加し、普段のお稽古はおろそかにする事のないように。

以上、3つの事をきちんと守った上、「修練・奉仕・友情」を柱とした楽しい青年部活動を行ってください。よろしくお願い致します。